



科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2単位
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：天野豊久	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、			
1. 導入 色について		〈講義 1コマ〉	
2. 色の三属性	色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面/色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 6コマ〉	
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色/トーンを基準とした配色 無彩色の配色の配色 配色(色彩構成)の考え方 ベースカラー/アソートカラー/アクセントカラー/セパレーションカラー シンメトリー/アシンメトリー/レピテーション/グラデーション	〈講義および演習 8コマ〉	
4. 色彩心理	色彩の感情効果/連想/イメージ 色の見え 対比現象/同化現象 膨張性/進出性	〈講義および演習 5コマ〉	
5. 色彩理論	光、眼と色 三原色と混色	〈講義 2コマ〉	
6. ファッションカラーコーディネーション	ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ/トーン・イン・トーン/トータル	〈講義および演習 3コマ〉	
7. 配色の展開	・絵画の配色分析と配色への展開 ・色相の移調/トーンの移調	〈講義および演習 5コマ〉	

評価方法・対象・比重 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 『ファッション色彩I』(文化出版局)
参考図書 特になし
その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介 色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	4 単位
科目コード 300500	科目名 アイテム演習 帽子	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原由美	共同担当者：板野景子
---------------	------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリミング(装飾)など、全体のバランスを考える。
ブレード、夏物帽体、冬物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型や専門道具を使用して制作。
基礎作図・基礎作図からの展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	仮縫い、裁断・縫製
2	帽子の基礎縫い	17	
3	ブレード帽子(基礎巻き)	18	
4	夏物帽体帽子の制作	19	仕上げ・提出
5		20	冬物帽体(フェルト帽体)帽子の制作
6	仕上げ・提出	21	
7	ベレー基礎作図	22	
8	布帛ベレーの制作	23	仕上げ・提出
9		24	カクテルハットの制作
10		25	
11	仕上げ・提出	26	
12	クロッシェ基礎作図(クラウン)	27	
13	(プリム)	28	仕上げ・提出
14	布帛クロッシェの制作	29	学年末試験の説明・作品発表
15	仮縫い		

評価方法・対象・比重 テーマ別作品評価・期末試験：出欠・授業姿勢 8：2

主要教材図書 ファッション工芸講座 帽子

参考図書 The HAT magazine

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業にて素材選びから縫製までをととして帽子作りを行い、その活動経験をもとに、帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識を習得し、素材の特徴を活かしたデザイン発想、装飾や全体のバランスを考える。ブレード、夏(冬)物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型・専門道具を使用して制作。基礎作図、展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作する授業を実施

記載者氏名 菅原 由美

2019年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作

*布の加工

- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかかりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習
イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習

*応用作品 オリジナルの図案をデザインし、それに合った材料や技法の選び方の総合学習

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する

評価方法・対象・比重 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション講座 工芸2 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに、クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科	単 位	1 単位
科目コード 004800	科目名 クリエイション演習	授業期間	1 年間 (14 コマ)

担当教員(代表): 加瀬浩嗣	共同担当者:
-------------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

デザインの基本を踏まえながら、学生の創造力・発想力を豊かにしていく。年間を通して平面～立体～空間と、考える領域を変化させて授業を展開していく。個人作業とグループワークを織り交ぜ、現代社会での重要性が増しているコミュニケーション能力も鍛えていく。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1 デザインの発想方法
- 2 描写の発想方法
- 3 色彩の表現方法
- 4 混色の作業
- 5 構成のバランスを学び、実践で鍛える
- 6 前期講評会
- 7 プレゼンテーションというもの～Presentation1
- 8 アーチストを知る、人に伝える
- 9 リ・デザインをする～先入観を取り払い、新たに作品を構築する
- 10 作品講評会
- 11 たまごを想像する「WHAT'S EGG」
- 12 作成した作品を各自プレゼンする
- 13 BOXの中身を想像する「BOX/BOX」
- 14 後期総合講評会～まとめ～

評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

授業によって個人やグループワーク、授業時間内で仕上げる作品を基本に考えている。

そして各々の作品発表ができる講評会を設けてる。

主要教材図書 なし

参考図書 課題ごとに持参する

その他資料 プリント資料を配布

授業の特徴と担当教員紹介

商品のパッケージデザイン、広告デザイン、空間デザインなど様々な企業のデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、デザインの基本を踏まえながら、平面～立体～空間と考える領域を変化させて授業を展開していき、学生の創造力・発想力を豊かにしていく授業を実施。個人作業とグループワークを織り交ぜ、コミュニケーション能力も鍛えていく

記載者氏名 加瀬浩嗣

2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科 名 ファッショングッズ基礎科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 980010	科目名 特 別 講 義 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：青木 克江	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通し、幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける</p>

<p>授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクション情報 (ファッションの動向と最新コレクションの解説) 講義 1コマ ・皮革について(皮革の種類や革が出来上がるまで) 講義 2コマ ・心理学(コミュニケーション能力開発) 講義 2コマ ・VMDについて(ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法) 講義・実習・講評会 5コマ ・流行色解説 講義 1コマ ・仕事とは？(キャリア開発) 講義・実習 6コマ ・ファッション業界とは(ファッション業界の仕組みと業種、その仕事について) 講義 1コマ ・ファッショングッズデザイナーについて(学生時代にすべき事) 講義 1コマ ・カメラワーク(作品集制作のための写真の撮り方の基礎) 講義・実習 4コマ ・作品集制作の心構え 講義・実習 2コマ ・SNSトラブルと著作権について 講義 2コマ ・デザイナーの仕事について 講義 1コマ ・日本の生活文化(風呂敷)について 講義・実習 1コマ ・シューズデザイナーの仕事について 講義 1コマ ・職人の仕事について 講義 1コマ

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>履修認定(P表示)</p> <p>評価基準：学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。</p>

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>皮革について、ビジュアルマーチャンダイジングについて、流行色解説、ファッショングッズデザイナーについて、作品集制作のためのカメラワーク、職人の仕事についてなど様々な業界で活躍する方々より、幅広い知識を得て視野を広げ同時に個々の目的とする職能を確認し位置づけさせる授業を実施</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード 305020	科目名 ハンディクラフトⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)：白戸 薫	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ハンディクラフトⅠで学習したテクニックの応用。エンブroidアリーと布の加工の他に、レースのテクニックも含め、より高度で広範囲なテクニックの習得を目指す。一般的な素材だけでなく、特殊な材料等も発展的に使用していく。帽子・アクセサリーへの応用など、さらにクリエイティブな力を養うことを目標とする。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・リボンエンブroidアリー 刺しゅう用シルクリボンの基本テクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広のリボンを加工し、花のモチーフをつくるテクニックの実習
- ・カラーエンブroidアリーの実用 より多様性のある表現のためにボリュームのあるステッチやスタンブワークなどを実習
- ・ゴールドエンブroidアリー ゴールドの素材を用いたエンブroidアリーの実習
- ・イニシャル(応用) 各自のイニシャルをデザインし、ゴールドエンブroidアリーで表現

*布の加工：レリーフライク表現

- ・イタリアンスモッキング 布の縫い縮め方による新しい表面効果のテクニックの実習
- ・ピンチング 布を裏面からつまみ縫いし、模様をつくるテクニックの実習
- ・ファンシープリーツ 固定したプリーツを部分的に起こし、陰影を表現するテクニックの実習
- ・ラティススモッキング 柄布を使いより効果的に陰影を表現するテクニックの実習

*レース

- ・ファゴティング 布と布の間をかがりで透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・ニードルポイントレース コードを用いて作った空間に、かがりで透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・テネリーフレース 渡した糸をかがりで模様を表現するテクニックの実習
ボーダー/円形モチーフ
- ・クロッシェ 編み物の種類のうち、かぎ針を使ったテクニックの実習
基礎編/モチーフ
- ・ニッティング 棒針を使ったテクニックの実習
基礎編

*応用表現 ハンディクラフト・ニットの技法のモチーフを実際に使える装飾品としてブローチなどにまとめる

*ブックの制作 学習した技法の総括として資料と共に構成する

評価方法・対象・比重
 制作物を主な評価とする

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに、1年生で学んだテクニックの応用。レースのテクニック、特殊な材料も使用し帽子・アクセサリーの応用などさらにクリエイティブな力を養う授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	通年

担当教員(代表)：砂生 政信	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、＜通年：27コマ＞

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. アパレル産業構造と職種（講義・演習×1コマ） | 8. 課題説明（講義・実習×1コマ） |
| 2. マーケティングとは（講義・演習×2コマ） | ・マーケティングからのブランド設計 |
| ・マーケットとは・マーケティングとは | 9. ブランド企画のステップ（講義・実習×2コマ） |
| ・リサーチの基本とヒアリングリサーチの実施 | ・目標の抽出 |
| ・ヒアリングリサーチのまとめとプレゼン | ・ブランドコンセプトとターゲット設定 |
| 3. 業態区分（講義×1コマ） | 10. リサーチの実施（実習×1コマ） |
| 4. 4Pとマーケティングミックス（講義×1コマ） | ・ヒアリング・メディア・ショップリサーチの実施とまとめ |
| ・4Pと4Cの考え方 | 11. 企画書構成説明（講義×1コマ） |
| 5. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ） | 12. 企画書作成（点検・実習×9コマ） |
| ・STPマーケティング | ・ブランド概要の設定 |
| ・ブランドポジショニング | ・ターゲットライフスタイル分析 |
| 6. マーケティングのプロセス（講義・演習×3コマ） | ・ポジショニングマップの作成 |
| ・ターゲット設定 | ・メインアイテムとメインデザインの設定 |
| ・ターゲットライフスタイル分析 | ・スタイリング提案 |
| ・ライフスタイルマップの作成・プレゼン | ・チャネル設定とプロモーション |
| 7. 情報とは、ブランドとは（講義×1コマ） | 13. プレゼンテーション（発表×2コマ） |
| ・情報メディアの活用 | 14. 作品展示会（展示×1コマ） |
| ・ブランドの考え方と理解 | |

評価方法・対象・比重

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

授業の特徴と担当教員紹介

デザイナー、セレクトショップの経営、モノづくりの視点を取り入れた実務的な経験をもとに、マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解し、プロセスによって市場に適合したブランド設計を行い目的を実現させるための戦略について学ぶ

記載者氏名 砂生 政信

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード 501210	科目名 ファッショングッズデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>グッズに対するフォルムの表現力を構造から視野を深め、帽子デザインやアクセサリーなどのアイディアイメージをデザイン画に展開し確実な習得を目指す。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>[頭部・顔の把握と着帽表現] …4 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本バランスの把握 …側面・斜め角度における頭部や顔及び帽子のブリム角度の把握表現 ●キャスケット …構造を認識し着装画と製品図表現 <p>[副資材及びディテールの表現] …4 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●副資材を効果的に表現するポイントテクニック ●ディテールデザイン…重なりを表現するブレードやリボンなどを用いてディテールデザイン 帽子着装画と製品図にてバリエーションデザイン表現 <p>[素材表現] …3 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エキゾチックスキンなどの特徴ある皮革素材表現の帽子とアクセサリーのコラボデザイン <p>[創作グッズデザイン] …8 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンテスト応募作品 ●世界装飾図案からのデザイン発想 <p>[レンダリング] …5 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジュエリーの描き方をメタルデザインやリングなどの基本習得及びデザイン表現 <p>[ポートフォリオ] …3 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就職活動に備える準備として全体概要を説明し、実作品のデザイン画や資料を用意して一端を制作 (3年次へ継続構成課題)
--

<p>評価方法・対象・比重 [S～C・F 評価]</p> <p>評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と後期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況, 授業態度を考慮)</p>
--

<p>主要教材図書 文化ファッション大系「ファッション工芸講座」文化出版局</p>
<p>参考図書：</p>
<p>その他資料：ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>企業においてジュエリーデザインを担当し、独立後、様々な作品を制作してきた活動経験をもとに、グッズに対するフォルムの表現力を構造から視野を深め、帽子デザインやアクセサリーなどのアイディアイメージをデザイン画に展開し確実な習得を目指す</p>
--

<p>記載者書名欄 河西 恵美子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14602	科 名	帽子・ジュエリー・バッグ・シューズデザイン科 2年	単 位	1
科目コード	904600	科目名	キャリア開発(コミュニケーション)	授業期間	前期

担当教員：長谷川直美	共同担当者：
------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・将来を考えるテーマについて、「聴く」「書く」「話す」などのコミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを講義＋実習を通して身につけさせる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 自分のことを伝える・相手のことを理解する
2. キャリア開発について考える
3. 社会人について考える
4. 自分のことを考える(成長目標設定)
5. コミュニケーションスキルの理解と習得
6. コミュニケーションスキルの習得と実践
7. コミュニケーションスキルの実践
8. コミュニケーションスキルの実践
9. 自分の強み発見
10. プレゼンテーションスキル理解と習得
11. プレゼンテーションスキルの習得と実践
12. プレゼンテーションスキルの実践
13. 「半年間で学んだこと」発表
14. 「半年間で学んだこと」発表、まとめ

以 上

評価方法・対象・比重

- ・出欠席、受講態度、実習(グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習)参画度

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部において採用・社員研修担当、人事開発研修企画担当、企業研修・人事担当者向け講座、大学生向け就職対策講座の企画、講師などの活動経験をもとに、「聴く」「書く」「話す」などのコミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキルを講義と実習をとって授業を実施

記載者署名欄 長谷川直美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)： 山内祐子 ・ 田中 美登里	共同担当者：
-------------------------	--------

教育目標・レベル設定など
多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など		
1. コレクション情報・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師：萩原 輝美
2. トренд情報・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師：岡村 嘉子
3. スタイリングにおける・		
ファッション小物の重要性・・・講義	1コマ	講師：藤 裕美
4. ファッショングッズのクリエーション・・講義・実習	2コマ	講師：石澤 彰一
5. 服飾小物における事業展開・・・・・・・・講義	1コマ	講師：古茂田 一宏
6. ポートフォリオ制作・・・・・・・・・・講義・実習	3コマ	講師：服部 あゆみ
7. セレクトされる商品とは？・・・・・・・・講義	1コマ	講師：小山 奈々子
8. お金について(人生のデザイン講座)・・講義	2コマ	講師：橋本 長明
9. バスケットリー・・・・・・・・・・講義・演習	4コマ	講師：関島 寿子
10. パールのアクセサリについて・・・・・・・・講義	1コマ	講師：森永 のり子
11. コサージュ作家の仕事・・・・・・・・・・講義	1コマ	講師：村上 伊万里
12. ジュエリーのブランディングについて・・講義	1コマ	講師：谷井 亨
13. 帽子のクリエーションについて・・・・・・・・講義	1コマ	講師：日爪 ノブキ
14. ジュエリー業界の仕事・・・・・・・・・・講義	3コマ	講師：横山 裕
15. 帽子業界の仕事・・・・・・・・・・講義	1コマ	講師：小林 由佳
16. ニットの基礎知識・・・・・・・・・・講義	2コマ	講師：下村 みち代

評価方法・対象・比重
学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
ファッショングッズのクリエーション、服飾小物における事業展開、作品集の制作テクニック、バスケットリー、パールアクセサリについて、コサージュ作家の仕事、ジュエリーのブランディングについて、帽子のクリエーションについて、ジュエリー業界の仕事、帽子業界の仕事など様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業を実施

記載者書名欄 山内 祐子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 14602 科 名 帽子・ジュエリー・バック・シューズデザイン科 2 年
科目コード 904720 科目名 キャリア開発Ⅱ（就職対策）

単 位	1
授業期間	後期

担当教員（代表）： 杉本 直鴻

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 就職活動の進め方（…講義 1 コマ）

企業の採用スケジュールとは、採用活動の後ろ倒しとその影響、就職活動の進め方

2. 言葉遣い（…講義＋実習 1 コマ）

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話

3. 電話・Eメール（…講義＋実習＝1 コマ）

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学（…講義 1 コマ）

会社訪問・店舗見学、OB・OG訪問、各注意点

5. 履歴書・エントリーシート（…講義＋書き方実習＝2 コマ）

選考を通る履歴書・エントリーシートのポイント

6. 面接（…講義＋実習＝2 コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策

7. グループディスカッション（…講義＋実習＝2 コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. 作品プレゼンテーション（…講義＋実習＝3 コマ）

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

9. 内定から入社まで（…講義＝1 コマ）

内定の意味、誓約書、承諾書、内定式、入社前研修、労働法規の理解

全 1 4 コマ

評価方法・対象・比重

・ 出欠席、受講態度、実習（面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習）参画度

主要教材図書

「就職対策 第7版」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

人材教育コンサルタント、イメージコンサルタントとしての活動経験をもとに、学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義と実習をとおして授業を実施

記載者署名欄 杉本 直鴻

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	単位 2
科目コード 605500	科目名 グッズマーチャンダイジング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 濱口 勝彦	共同担当者：
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. ファッション・マーチャンダイジング実務について指導を行い、シーズンMDの計画背景に基づいたプランニング実習を行い、企業で企画プランナー&デザイナーを目指す学生の為の教育を行う。
2. ファッションブランドのプランニング過程を実践。現実に即したブランドの意思決定と立案計画、そして具体的な商品企画を行い、プレゼンテーションを実施。個々の能力向上を目指す。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・マーチャンダイジング概論 2コマ
- ・ブランド立案 10コマ
 - ① リサーチ&コンセプトの策定
 - ② 市場の位置づけ
 - ③ ターゲット
 - ④ プロダクトMD立案
- ・企画MD基本計画 14コマ
 - ① 2017年S/Sシーズンコンセプト設定
 - ② 店頭MD イメージヴィジュアル
 - ③ 店頭MD MDストーリー
 - ④ デザイニング&マップ作成
 - ⑤ プロモーション
 - ⑥ デザイン検討会
 - ⑦ MDマップ 商品構成
- ・生産MD 生産仕様書 2コマ
- ・S/S企画プレゼンテーション 2コマ

評価方法・対象・比重

※作品評価・ブランドコンセプトからS/Sコレクションまでのポートフォリオ(プレゼンテーション資料)&サンプル作品評価

主要教材図書

参考図書 トренд情報誌 ファッション雑誌など

その他資料 カラー 素材資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業において衣料品の企画・製造・販売・卸を経験し、アシスタントデザイナー・チーフデザイナー・企画部マネジャーの業務経験をもとに、シーズンマーチャンダイジングの計画背景に基づいたプランニング実習を行い、企業で企画プランナーやデザイナーを目指す授業を実施。また、ファッションブランドのプランニング過程を実践し、業界に即したブランドの立案計画、そして具体的な商品企画を行い、プレゼンテーションを実施する

記載者氏名 濱口 勝彦

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 バッグデザイン科 3 年	単 位	2 単位
科目コード 500350	科目名 デザインディレクション	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 津村 耕佑	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1つのパーツから繋がり様々な形に変化する事は生命が細胞の集まりだという事と同じである。
 自分の好きな形を1つ決める。幾何学的でクールな形でも有機的な形でもOK! サイズや厚み素材、色は自由。
 その形だけを使ってバッグ、靴、帽子、アクセサリを作る。余裕があれば服まで制作も構わない。
 それらの作品を記録し自分のブランドとして冊子を作り、展示方法を考えていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・授業概要説明、自己紹介	2コマ
・デザイン、制作	12コマ
・作品プレゼン	2コマ
・ポスター制作	6コマ
・展示準備、シミュレーション	4コマ
・展示、講評会	2コマ

【評価方法】

S~C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルブランドのクリエイションスタッフとしてパリコレクションを経験し、ファッションブランドの立ち上げの活動経験をもとに、造形物を製作していくなかで発想力や感性を磨く授業を実施。製作した造形物のプレゼンテーション、ポスター制作、展示方法まで学ぶ

記載者氏名 津村 耕佑

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	3 年	単 位	1 単位
科目コード	306210	科目名	メタルワーク		授業期間	前期

担当教員(代表) : 高橋 正明	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションと親和性の高いスワロフスキー・クリスタルを使ったコスチュームジュエリーをデザイン、製作するための知識と基礎的な「よせもの」技術を、座学と実技により指導。
ファッショングッズ分野においても活用できる、デザイン企画やデザイン手法を習得。また、製作現場とのコミュニケーションを図る事が出来る程度の、基礎的知識と技術の体得。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1日2コマの授業の中で、座学と実技を行う。 計16コマ

【座学】

□パワーポイントを使用し、実際の作品に触れながらの講義

- DAY1 「よせもの」について
- DAY2 「よせもの」の歴史について、「挿しろう」について
- DAY3 「よせもの」の可能性について
- DAY4 コスチュームジュエリー製作の現場
- DAY5 ブランド運営、ハンダについて
- DAY6 曲型について
- DAY7 ダイヤレーンについて、メッキについて
- DAY8 指示書作成について

【実技】

□「よせもの」で使用する、「胡粉」の使用法と、「挿しろう付け」の技術を学ぶ

- DAY1 基礎的なデザインと寄せ1
-直線、円、クロス、星
- DAY2 基礎的な挿しろう1
-直線、円、クロス、星
単純カン付けパーツの寄せ
- DAY3 基礎的なデザインと寄せ2
-規則正しい放射状、決まった寸法の中でのモザイク
- DAY4 基礎的な挿しろう2
-規則正しい放射状、決まった寸法の中でのモザイク
-単純カン付けパーツ

□コスチュームジュエリー製作に必要なバーナーによる「ハンダ付け」の技術を学ぶ
スワロフスキー・クリスタルのツメ留めを学ぶ

- DAY5 熱に弱い金属パーツやダイヤレーンへのハンダ付け
「爪返し」を使い、クリスタルのツメ留め

□同じ曲げ線を量産製作するための方法を学ぶ

- DAY6 曲げ型の製作、曲げ線の製作
曲げ線の寄せ

□ダイヤレーンネックレスを製作する

- DAY7 ダイヤレーンネックレスを作るためのネックレス型の製作
2連ダイヤレーンネックレスの製作

□メッキ仕上がり確認

- DAY8 メッキ仕上がり返却時の確認作業

【発表と講評】

- DAY8 課題作品の発表と、講師からの講評

【評価方法】	制作物、プレゼンカ	制作姿勢、学習態度	出席率
	6	3	1

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アーティストのステージジュエリーのデザイン提案から製作・サポート、企業とのコラボレーションジュエリー・ブライダルジュエリー・オリジナルジュエリー・コマーシャルジュエリーのデザイン・製作、よせものの装飾品制作を手掛けてきた活動経験をもとに、コスチュームジュエリーをデザイン・製作知識とよせものの基礎知識を講義と実技をとおして授業を実施

記載者氏名 高橋 正明

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	6単位
科目コード	501220	科目名	ファッショングッズデザイン画 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>グッズデザインワークの上で即戦力として使えるデザイン画の習得。</p> <p>就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び創作デザインの企画構成力を目指して。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>[ポートフォリオ作成] …8 コマ</p> <p>●マイコレクション</p> <p>・・・個々の「作品集」として、学習経過の実物作品等と資料を効果的にまとめ、 就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習を行う。</p> <p>テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション、 アピールセクションなど。(デザイン構成と表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化)</p> <p>[フォルム研究 + 素材研究] …4 コマ</p> <p>●異素材とのコラボデザイン展開や新たな素材使いのデザイン研究と、興味深い形状のディテールのフォルム等を イメージに造形をデザイン</p> <p>[創作デザイン] …17 コマ</p> <p>・・・デザイン発想のキーワードの資料収集と探求、バリエーションデザイン表現の強化</p> <p>●デザインバリエーション構成</p> <p>●絵画配色からのデザイン</p> <p>●コンテスト応募作品</p> <p>●素材研究② …羽根や毛皮素材と装飾素材を用いたデザイン表現</p> <p>●グッズアイテムデザイン 30 …企画スタイルにて 30 点のアイテム図構成</p> <p>●時間内課題</p>
--

<p>評価方法・対象・比重 [S～C・F 評価]</p> <p>評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と前期・後期期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況、授業態度)</p>
--

主要教材図書
参考図書
その他資料 ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>企業においてジュエリーデザインを担当し、独立後、様々な作品を制作してきた活動経験をもとに、ファッショングッズデザイン画 II は、グッズデザインワーク上で即戦力として使えるデザイン画を習得する授業を実施。レンダリングは、ジュエリーなどのデザイン表現を個々の特性を引き出す創作デザイン考案とデザインワークの活力にする授業を実施。どちらの科目も就職活動に活用できるポートフォリオ作成、企画デザイン力を目指す。</p>

<p>記載者書名欄 河西 恵美子</p>

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	3 年	単 位	2 単位
科目コード	501100	科目名	レンダリング		授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ジュエリーなどのデザイン表現を、個々それぞれの特性を引き出す創作デザイン考案とデザインワークの活かに。就職活動に活用できるポートフォリオ作成。企画デザイン力を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[ポートフォリオ作成] …8 コマ

●マイコレクション

- ・ ・ ・ 個々の「作品集」として、学習経過の実物作品等と資料を効果的にまとめ、就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習も行う。
- テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション、アピールセクションなど。(デザイン構成と表現内容の工夫などを強化)

[ジュエリーデザインの基本表現] …2 コマ

●立体の把握(基本バランスの再認識をかねて)

- ・ ・ ・ 石材の彩色表現、立体デザインにメレダイアの構成表現、ペンダント、イヤリング、ブローチ等のデザイン表現。

[創作デザイン] …17 コマ

- ・ ・ ・ テーマにあった発想のキーワードの資料収集と探求、オリジナルデザイン表現

●モチーフジュエリーデザイン

●ジュエリー模写からのデザイン研究及びアレンジデザイン

●ジュエリーデザインアイテム 30 …企画スタイルにて 30 点のアイテム図構成

●コンテスト応募作品

評価方法・対象・比重 [S～C・F 評価]

評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と前期・後期期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況、授業態度)

主要教材図書

参考図書 ジュエリー技法講座2 美術出版社

その他資料 ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真、及び宝飾誌関連等

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてジュエリーデザインを担当し、独立後、様々な作品を制作してきた活動経験をもとに、ファッショングッズデザイン画Ⅱは、グッズデザインワーク上で即戦力として使えるデザイン画を習得する授業を実施。レンダリングは、ジュエリーなどのデザイン表現を個々の特性を引き出す創作デザイン考案とデザインワークの活かしにする授業を実施。どちらの科目も就職活動に活用できるポートフォリオ作成、企画デザイン力を目指す。

記載者書名欄 河西 恵美子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14503	科 名 帽子・JD 科/バックデザイン科/シューズデザイン科 3年	単 位	1 単位
科目コード 605600	科目名 ビジュアルプレゼンテーション	授業期間	前期

担当教員(代表)： 柴田 優香	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・VPの社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う。
- ・「作品」を「商品」として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。
- ・ピンワークのテクニックを学びVPや作品作りに活かす。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・授業内容説明・実習室説明	10	プランニング(コンセプト・イメージetc)
2	・ピンワーク(アンビエ・ドゥブルピエ・ドレーブ)	11	演出小道具準備
3	・ピンワーク(ギャザリング・タッキング)	12	演出小道具準備
4	5つの手法を使用して演習→ ※次回 VP 個人演習課題内容説明 評価 ↓	13	演習 ↓
5	・VP個人演習(参考画像・サンプル説明)	14	★評価
6	プランニング		
7	演習		
8	↓ ★評価		
9	・VPグループ演習(課題説明・参考画像・サンプル説明)		

【評価方法】

① 完成作品 ②コンセプトシート ③授業態度 ④出欠状況 総合的に評価

主要教材図書

参考図書 inspiration、ディスプレイ年間

その他資料 オリジナル PowerPoint、画像

授業の特徴と担当教員紹介

企業においてデコレーター、ディスプレイデザイナー、ビジュアルマーチャンダイジングの活動経験をもとに、社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニングから実行までの作業を行う。作品を商品として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。ピンワークのテクニックを学び、ビジュアルプレゼンテーションや作品作りに活かす

記載者氏名 柴田 優香

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	3年	単 位	1単位
科目コード	980030	科目名	特別講義Ⅲ		授業期間	通年

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | | |
|----------------------|---------------|--------|--------|
| 1) 卒業1年前に意識しておくこと | 講師：山地 保 | 講義 | 1コマ |
| 2) 金属アレルギーについて | 講師：鈴木 久子 | 講義 | 1コマ |
| 3) ジュエリーブランドについて | | | |
| ジュエリーブランドと路面店舗展開について | 講師：大久保 俊 | 講義 | 1コマ |
| 4) メンズハット | 講師：土田 正昭 | 講義、・実習 | 3コマ |
| 5) 毛皮について | 講師：梨本 チエコ | 講義、ビデオ | 2コマ |
| 6) コスチュームジュエリーについて | 講師：渡辺 マリ | 講義 | 1コマ |
| 7) ファッションビジネスの世界 | 講師：児島 幹規 | 講義 | 1コマ |
| 8) 館鼻則孝の世界 | 講師：館鼻 則孝 | 講義 | 1コマ |
| 9) CADを使用した生産システム | 講師：第2グループ生産管理 | 講師未定 | 講義 2コマ |
| 10) 撮影テクニック | | | |
| 作品写真のとり方 | 講師：尾島 敦 | 講義 | 2コマ |

【評価方法】

履修認定（P表示） 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

皮革のメンテナンス、毛皮について、撮影テクニック、金属アレルギーについて、ジュエリーブランドについて、メンズハット、コスチュームジュエリーについて、CADを使用した生産システムなど様々な業界で活躍する方々より、講義や演習を通して専門科目のより一層の充実を図ることを目指す

記載者氏名 大工原 睦